

CASBEE Sapporo2014v1.2  
(仮称)札幌南7西1ホテル

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
配慮項目	重点評価項目				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q1 建築物の環境品質</b>									
<b>Q1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
1.1 騒音									
1.2 遮音									
1.3 吸音									
<b>2 温熱環境</b>									
2.1 室温制御									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
<b>3 光・視環境</b>									
3.1 昼光利用									
3.2 グレア対策									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
<b>4 空気質環境</b>									
4.1 発生源対策									
4.2 換気									
4.3 運用管理									
<b>Q2 サービス性能</b>									
<b>1 機能性</b>									
1.1 機能性・使いやすさ									
1.2 心理性・快適性									
1.3 維持管理									
<b>2 耐用性・信頼性</b>									
2.1 耐震・免震									
2.2 部品・部材の耐用年数									
2.4 信頼性									
<b>3 対応性・更新性</b>									
3.1 空間のゆとり									
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性									

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
(仮称)札幌南7西1ホテル

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>						-	0.30	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			C			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			C			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			2.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>						-	-	-	-	3.0
<b>LR1 エネルギー</b>						-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制	A					3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用	A					3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 0.96 住宅(専有部) -	3.0	0.50	-	-	3.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A					3.0	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)	A					-	-	-	-	-
4 効率的運用						3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価						3.5	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	A				ガスヒートポンプユニットの総合管理システムの採用	4.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価						-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	A					-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>						-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					衛生陶器節水器具の採用	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減						2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減		B				3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B				3.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.2	0.20	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避					CO2消火器を設置	3.3	0.70	-	-	-
1 消火剤		B				4.0	0.33	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		B				3.0	0.33	-	-	-
3 冷媒		B				3.0	0.33	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>						-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		B			効率的な機器の採用による環境負荷の低減	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮						2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止		B			燃料に都市ガスを採用することにより大気汚染物質の低減	4.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制						2.7	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		B				1.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制					駐車場前に待機スペースの確保。	4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D		3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮						2.1	0.33	-	-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-
1 騒音						3.0	0.33	-	-	-
2 振動						3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						1.6	0.40	-	-	-
1 風害の抑制						1.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制						1.6	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						1.0	0.70	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	-